

「薬害資料データ・アーカイブズの基盤構築」（厚生労働科学研究費補助金）の平成29年度の活動について

○薬被連・研究班 研究交流会

【日時】平成29年7月2日14時～16時

【場所】大阪人権博物館

【内容】

- ・研究代表者の藤吉教授（追手門学院大学）から、「アーカイブズ」について説明した後、「当事者が当事者の過去を展示すること」の先例としてサンフランシスコGLBT歴史博物館の例を紹介

（参考）

「アーカイブズ」…組織や個人がその活動の中で作成した業務記録を、部署ごと業務ごとに収集したもの、およびその保管場所

「GLBT歴史博物館」…GLBT歴史協会（1985年設立）が設置。

収集した資料の整理、補修、デジタル化等を推進。

○薬害資料アーカイブ化に関するワークショップ

【日時】平成29年8月19日～20日

【場所】愛媛県今治市 地域地場産業振興センター

【参加者】研究班：島津講師（奈良女子大学）他スタッフ4名

薬被連関係者等：13名

【内容】

目的：参加者の資料整理・目録化作業の技能習得を目指す

対象：陣痛促進剤による被害に関する資料（裁判資料、刊行物、ニュースレター等。約30箱）

実施事項：

- ・簿冊単位の仕分け・目録作り、紙資料のスキャニング、モノ資料の写真撮影、PCへのデータ入力の指導・補助
- ・VHS映像資料のDVDへの複写支援

○証言映像検討会

【日時】平成30年3月3日

【場所】大阪人権博物館

【内容】

目的：研究班での薬害被害への理解を深めると共に「被害を後世に伝える」という課題に関する枠組み構築を図る

○証言映像の収録への立ち会い

【日時】平成30年2月以降随時

【内容】

- ・厚生労働省の予算で、薬害被害者の方の被害実態に関する証言映像を収録している。
- ・この証言映像の活用方法を検討するため、ご本人の同意を得て、映像収録時に研究班員も同席する。

○大阪人権博物館に緊急避難している資料の整理

【日時】随時実施

【場所】大阪人権博物館

【内容】

- ・散逸の危険があった「福岡スモン資料」「筋短縮症資料」について、平成27年に大阪人権博物館に移管。
- ・当該資料について研究班員が目録作成等を実施中。
- ・「福岡スモン資料」については、ファイル（簿冊）単位の目録打ち込みが終了したところ。今後、データの再点検等を行った後、資料のスキャン等を実施する予定。

※上記の他、研究の進め方等について、研究班会議を随時実施しており、医薬品副作用被害対策室からも可能な限り参加している。